

いわせ

第 81 号
退職校長会
支部 須田 元大
発行 須田 元大

就任の御挨拶

須田 元大



令和八年度の総会においてご承認をいただき、引き続き支部長の任に当たらせていただくことになりました。会員の皆様の親睦を図り、本会が地域に貢献し、認知される団体であり続けることができるよう、役員と力を合わせて努力していく所存です。どうぞよろしくお願いたします。

さて、既に新聞等で報道されたところではありますが、須賀川市教委主催の「すかがわ寺子屋」の協力団体として、子どもたちの自主的な学習のサポートを開始しました。現在は、役員を中心に八名程度の会員が輪番で対応しており、高学年ともなると内容が難しく、子どもと一緒に頭をひねりながらの活動は久しく遠のいていた「子どもとできた喜びを共有する」貴重な体験の場でもあります。今後も継続していくために、さらに多くの会員の皆様のご協力をいただければと考えております。総会時にもお話ししたのですが、本会は組織率の低下という難題に直面しています。特に本県においては大きな支部で顕著です。しかし、岩瀬はほぼ全員に加入していたいただいています。「岩瀬は一枚岩」。現職の時に先輩方が何度も口にされていたこの言葉の意味やそこに込められた思いを、今改めてかみしめているところです。とはいえ、役職定年後五年間程度は何らかの形で働くことが当たり前の形になつてしましました。少しでも時間に余裕のある会員の皆様が積極的に本会の活動に参加してくださいませよう重ねてお願い申し上げます。

令和八年度 支部総会

四月十一日(土)に、令和八年度福島県退職校長会岩瀬支部総会が、須賀川市教育研修センター二階の研修室において開催されました。

ご来賓として、地区小・中学校長協議会会長の柿沼孝明様のご臨席をいただきました。昨年度の物故者四名への黙祷が捧げられた後、須田支部長から挨拶があり、新会員八名が紹介され、出席いただいた齊藤俊明様、兼子豊志様、齋藤敦様からご挨拶をいただきました。今年度は、百二十一名の会員でスタートしました。

議事では、議長に川崎勝久氏を選出し、令和七年度庶務・会計報告、令和八年度の事業計画・予算案等が満場一致で承認されました。

今年度の新役員は、本紙面に掲載されており、ますのでご覧ください。退任された役員・理事の皆様には、永らくご尽力いただきましたまことに厚く御礼申し上げます。なお、今年度か



ら「すかがわ寺子屋」の学習支援と「明るい社会づくり運動作文コンクール」の審査会が新規事業となります。ぜひご協力お願いいたします。

令和八年度 支部事業計画

- ① 総会の開催 (四月)
- ② 県退職校長会西白河大会 (六月)
- ③ 広報「いわせ」発行 (年二回：七月、十二月)
- ④ 退職・現職校長研修会並びに懇談会 (八月)
- ⑤ 研修会の開催(功績調書作成の促進、研修行事) (八月)
- ⑥ 教育委員会訪問 (八月)
- ⑦ ふくしまを十七字で奏でよう審査協力(九月・十月)
- ⑧ 会員の健康増進、相互の交流・親睦を図る活動
- ⑨ クラブの活動(ゴルフ)
- ⑩ 社会貢献、各種ボランティア活動の推進
- ・ 子どもの祭典でのブース出展
- ・ すかがわ寺子屋学習支援・明るい社会づくり運動作文コンクール審査
- ⑨ 全国及び県事業への協力
- ⑩ 役員会、理事会、広報委員会、功績調書作成委員会の開催(随時)

令和八年度 岩瀬支部役員

顧問

川田 昌利 八木沼智恵子
鈴木 和一 渡邊 真二

支部長

須田 元大

副支部長

阪路 裕

監事

芳賀 孝美 石山 晃司

庶務

安田 柳一 熊田順一郎

会計

大河原正道 関根 勝志

理事

高木 正宏 遠藤 彰
内山 博行 川崎 勝久
渡邊 真二 薄井 英一

功績調書作成委員会

安田 柳一 大河原正道

広報委員

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

功績調書作成委員会

安田 柳一 熊田順一郎

教育特集

「ほめるということ」

岩瀬地区小・中学校長協議会 会長 柿沼孝明

死刑囚そして歌人「島秋人」という方の存在を初めて知ったのは先々月のことでした。来校された学校教育アドバイザーの石井順治先生から、ご自身が若かりし頃の昭和三十年代当時、「島小の教育」で全国から注目された教育者、齋藤喜博先生から、「教師はなぜ子どもをほめるのか」という話を直接伺った時のことを、私自身に教えてくださったことがきっかけです。

昭和九年生まれの秋人は、不遇な家庭環境から、繰り返して罪を犯し、二十五歳で死刑を宣告されました。獄中の秋人は、中学当時の美術教師に「君は絵は下手だが構図はいい。」と、少年時代でたった一度だけほめられたことがうれしかったと手紙を出します。この美術教師はそのことを覚えていませんでしたが、封筒に妻が詠んだ短歌を三首同封して返信します。初めて短

歌に触れた秋人は、このあと幾度もの往復書簡で短歌を学びます。教師は秋人の才能に気づき、短歌の第一人者の先生に秋人を紹介して、さらにその才能を開花させます。「褒められし

一つのことが嬉しかり
命いとしむ夜の思いに」

教師に褒められた一言を拠りどころに三十三歳で死刑が執行されるまで数百の歌を詠みました。翌朝に執行を告げられた夜に残した最期の歌。

「この澄める

ころあるとは識らず来て
刑死の明日に迫る夜温し」

教師が発した何気ない言葉が、子どもたちの一生を支える可能性があるとしたら、小さなことでも見逃さずに褒めてやりたいと心から思いました。そして、「学校とは何か」をあらためて考えさせられます。諸先輩方のご助言がまだまだ必要な私です。

「伝統と学校経営」

須賀川市立仁井田中学校 校長 井上謙一

本校に赴任して、二年目を迎えました。実は、七年前、教頭として勤務した学校でもありました。学校名は同じですが、生徒や保護者、教職員が変わり、抱えている課題も当然異なり、当たり前のことですが全く違う環境でした。そんな中でも、本校の伝統である挨拶、無言清掃、校歌合唱や、学校経営ブランドデザインに基づくスローガン「笑顔につこり 言葉はつきり

「こんな学校に」
鏡石町立第二小学校 校長 富永陽一

本校に赴任して二年目となります。素直で明るい一九九名の子どもたち。活気あふれる先生方。協力的な保護者と地域の皆様方。とても恵まれた環境で令和八年度をスタートできたことを、感謝しているところです。

本校は『牧場の朝』のモデルとなった「岩瀬牧場」のそばに位置しており、始業のチャイムは『牧場の朝』のメロディーです。

る日々が続きました。今、改めて思うことは、やはり、教育は、信頼が土台であり、初期対応や組織的な対応が、いかに重要であるかを身をもって痛感しました。今年度は、幾つかの課題が解決され、新しい教職員も加わり、学校の雰囲気も変わりました。これから様々な課題に直面することと思いますが、実態を適切に把握するとともに、校長として、明確なビジョンを示しながら、教職員をまとめ、理想とする学校をめざし、邁進していきたいと思っています。

や「楽しい」を目指して先生方は学習指導や学級経営などに日々努力する姿が何え誇らしく思っています。

理想とする学校にはまだまだ届きませんが、本校スローガン「夢いっぱい、元気いっぱい、笑顔いっぱい まきばつ子」のもと、理想とする学校を築いていくために、本校の教職員が一丸となつて精一杯がんばっていききたいと思

「子ども達も、先生方も、学校へ行くのが楽しみと思える学校にしたい。」私がめざす学校像です。常日頃、先生方には「子ども達を笑顔で家庭に帰してください。」と、お願いしています。「笑顔」



会員の近況

近況報告

高原孝一郎

私は今年七十七歳になりました。今でもスポーツは大好きで、日々のテレビでの観戦は欠かせません。しかし、実践するスポーツとなると種目は限られてきます。

今一番に力が入っているのがボッチャという競技です。ボッチャはカーリングとほぼ似たスポーツです。違いはカーリングは的が最初から固定されていますが、ボッチャは的を自分で決めることができますし、試合途中で的を弾いて移動させることもできる、戦略的に奥の深い競技です。

そのボッチャへの関わりは、鏡石ボッチャクラブの一員として、日々の練習やクラブ内大会への参加、対外活動で昨年度は、他団体との交流会の実施、須賀川市大会や福島県大会への出場と、ボッチャの楽しさを満喫しました。

近況というより、ボッチャの紹介になってしまいました。が、さらにボッチャに熱を上げ、充実した日々を過ごしていきたいと思っています。

近況報告

高谷 孝二

一昨年三月坐骨神経痛を発症し、約三カ月寝たきりの生活でした。太腿が半分位に細り歩行が困難になりました。リハビリでかなり回復し杖をついて歩けるようになりましたが、ボケが出てきたのか全体的に身体の動きや言葉が緩慢になっていきます。聴力も衰え言葉の聞き分けが難しく会話に苦労しています。

今年米寿を迎えました。若い頃には思っても居なかった先の短い年齢になりましたが不思議と不安感はなく、今日は何をしようかなどと考えています。ハンデはありますが日常生活はほぼ出来ます。車の運転は市内での買い物や通院が中心で、何時も家内を通訳に同伴させています。家の周りの散歩、小さな庭の樹木や草花の手入れなどをし、出来るだけ体を動かして体力の回復に心掛けています。新聞やテレビ等で報道される事件や事故、政治や経済・外交など不安定な世界の動向を気にしています。

趣味と共に

東条 正記

年令も八十歳になろうとしています。一週間が一日位の早さで過ぎていくように感じます。そのような中で趣味のゴルフが一日の充実感を与えてくれます。ゴルフ場ではなく練習場に行つてゴルフの友とコーヒーを飲んだり、世間話をしたりすることが何よりの楽しみです。腕前の方はまだまだですが、ボールをクラブの芯で捕えた時の快感は、その日の調子の良さを占うものなのです。私にはもう一つの趣味があります。それは囲碁です。鏡石囲碁クラブに所属し、週二回通つています。囲碁には布石、手筋、詰碁といったものや、易しいものから難解のものがあり、勉強しても、でも充分というものがありません。いろいろな人と対戦しているとその人の個性が表れ、まるで碁石が話をしているように思えます。医療機関に行つて診察を待つ間、碁の本を見てみると、二時間位の待ち時間が苦にならなくなっています。まさに碁の効果です。これからも二刀流の趣味で行こうと思つています。

体を動かす

阿部 昭光

『老化は足から始まる』と言われますので、足腰が弱らないよう一時間程度のウォーキングをしています。

同じコースだと飽きてしまうので、四十五分、一時間、一時間十五分などいくつかのコースを設定して、その日の気分でコースを決めています。同じコースでも季節や時間の違いで、見える景色に違いがあることに気づく楽しさもあります。春は、なんといいても桜です。こんなところにこんなきれいな桜があったんだと驚かされます。桜の名所といわれるところの桜はもちろん素晴らしいですが、道沿いに一本だけ咲いている桜もまた素晴らしいと感じます。今(夏場)の時期は、朝早く、涼しいうちに歩いていきます。朝日が昇り、朝もやの風景を見ながら歩くのもいいものです。毎日とまではいきませんが、できるだけ歩くようにしています。他にも室内でエアロバイクを漕いだり、ちよつとした筋トレをやるなど、体を動かす生活を心がけています。

庭いじり

永瀬 功一

小学一年生になった孫が学校から朝顔の種を持ち帰ってきた。学校で観察用に植えた残りを妹のために持つてきたとのこと。早速孫と一緒に庭の片隅に植えた。数日後に双葉が芽を出すと、それがよっぽどうれしかったらしく、親を庭に呼んでうれしそうに話して見せていた。

ここからが大騒ぎだった。それだけでは収まらず、他の花や野菜も育ててみたいとおねだりが始まった。狭い庭ではあるが、何の世話もしないうちに雑草が伸び放題である。仕方なく、孫たちの要望に応じて、半日掛かりで除草する羽目になってしまった。改めて考えてみると、去年までは草が生えたと、少し見栄えが悪いかと考えて仕方なく除草していたが、花や野菜を育てると思えばいくらか気持ちも前向きになれるものだと思ふ。朝顔は感じている。朝顔はなんとか育つてくれると思うが、孫が親と一緒に始めた、にわか仕込みの家庭菜園は、失敗を学ぶ教材になってしまふ確率が高いと思つていふところだが、どうなることやら。

県大会報告

第六十回福島県公立学校

退職校長会西白河大会の記録

六月九日(火)、白河市のシン鹿島において、福島県公立学校退職校長会西白河大会が行われました。岩瀬支部からは、七名が代表して参加いたしました。

午前中は、「史跡小峰城跡の地震被害からの復興への姿」と題して白河市建設部文化財専門研究員 鈴木 功氏が講演を行いました。

午後の体験発表は、安達支部、北会津支部、相馬支部の3支部が行いました。趣味を追究されている方や、現在の地域で役職として活動している方の現状等すばらしい発表でした。

大会運営に当たられた県南支部、そして西白河地区の皆様にご感謝申し上げます。報告いたします。



令和八年度すかがわ寺子屋

子どもたちに少しでも学びの場を提供しようということ、今年度から須賀川市教育委員会が「すかがわ寺子屋」を実施することになりました。退職校長会岩瀬支部が学習支援者として協力することになり、五月三十日(土)に須賀川市交流センター(tette)で開講式が行われました。

開講式では須賀川市教育委員会教育長の永瀬功一様から挨拶があり、その後、退職校長会須田元大支部長から挨拶と「すかがわ寺子屋」の目的や学習の進め方などの説明がありました。

小学生が対象で定員三十名でしたが、すぐに定員が埋まりました。子どもたちも楽しく参加していました。退職校長会からは、須田支部長をはじめ、阪路副支部長、薄井副支部長、川崎勝久先生などが学習支援者として協力し、その他に生涯学習スポーツ課の大河原先生、永野先生、小林先生の三名にもご協力いただきました。寺子屋の開講時間は、午後一時半から四時半まででしたが、最後まで一生懸命に学習する子どももいれば、一時間程度で帰る子どももいましたが、各自それぞれ充実した時間を過ごしたようです。特に子ども達が先生方から楽しく勉強を教わっている様子が印象的でした。退職校長会では、今後も学習支援者として協力していきたいと思っております。



【今後の日程】
六月十三日、六月二十七日
七月十一日、七月二十五日
八月五日、八月六日
八月七日(閉講式)
時間は、午後一時半から午後四時半までとなっています。会員の皆様の中でもご協力いただける方は、いつでも参加できますので、ぜひご参加くださるようお願いいたします。

連絡先
須賀川市教育研修センター
TEL 0248(72)7185
(担当 安田)

クラブ活動
ゴルフクラブ

退職校長会ゴルフクラブは、「健悠会」として今年度も活動をいたしました。第一回は六月一日に矢吹町にあります

「矢吹ヒルズゴルフクラブ」が会場となりました。六月初旬ですが汗ばむ気温となり、体力的には少々きついコンディションでした。その中でも好評プレーや珍プレーが出るなど、楽しく活動することができました。総勢十六名のメンバーで行い、白熱した試合となりました。女性で唯一参加しました富永庄子先生が一番ホールでバーディー発進となり、見事優勝を飾りました。またベストスコアは準優勝した久保直紀先生が獲得しました。(ベストスコア賞は設けていませんでした)

毎回十五名程度でのコンペ開催となっています。新たに参加される会員の皆様を歓迎します。事務局までぜひ連絡をいただければと思います。



また、八月下旬には、現職校長との懇親コンペを予定しています。
○六月一日(月)
優勝 富永 庄子
準優勝 久保 直紀
三位 庄司 新一
(大河原正道)

お悔やみ申し上げます

故 鈴木 茂氏
(享年八十四歳)

令和八年一月二十九日ご逝去

元須賀川市立第二小学校校長

故 鈴木 廣茂氏
(享年九十六歳)

令和八年二月二十日ご逝去

元須賀川市立大東小学校校長

新入会員紹介

兼子 豊志 様

前天栄村立大里小学校校長

緑川 喜久 様

前須賀川市立柏城小学校校長

酒井 宏尚 様

前須賀川市立第二中学校校長

齊藤 俊明 様

前須賀川市立第一中学校校長

岩井 章 様

前須賀川市立長沼東小学校校長

安齋 博嗣 様

前須賀川市立大東中学校校長

三浦 康夫 様

前須賀川市立西袋第二小学校校長

あとかき

御多用の中、原稿をお寄せくださいました皆様方の御協力により、第八十一号を予定通り発行することができました。心より感謝申し上げます。会員の皆様におかれましては暑い夏に向かう中、どうか御健康には十分留意され、お過ごしください。